

平成20年度コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動促進事業

【モデル事業の概要】

本年度のモデル事業は、地域において市民出資を活用した環境コミュニティ・ビジネス(以下「環境CB」という。)を支える方策について検討、提言することを目的とするものである。

【本事業の狙い】

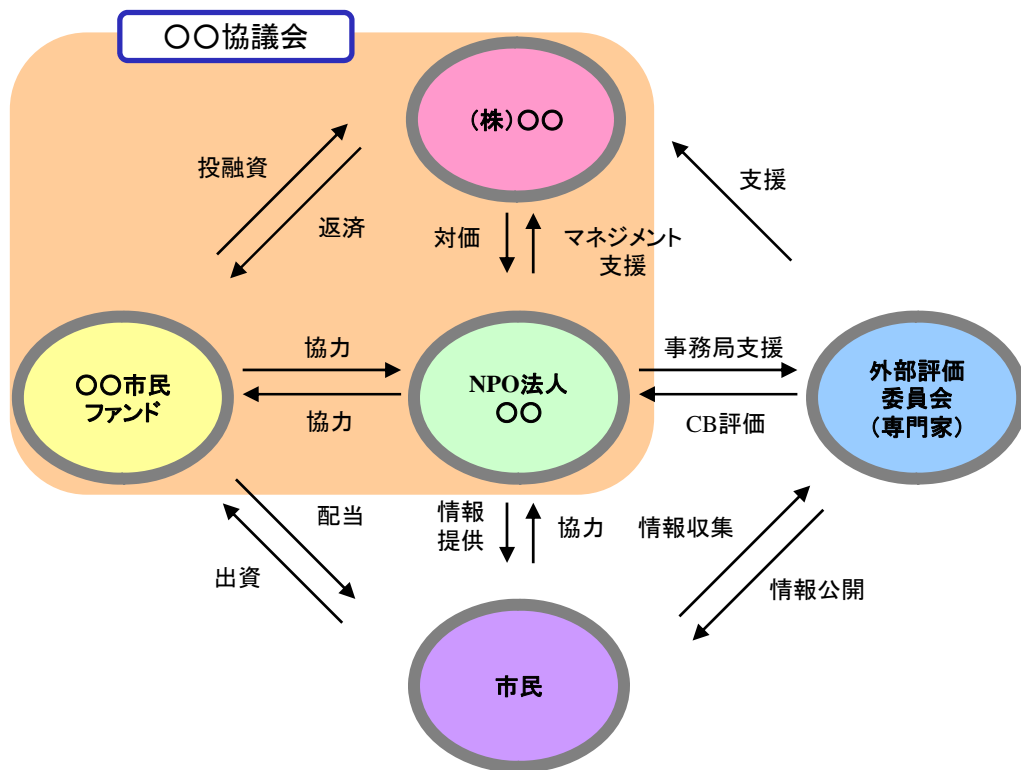
本事業では、環境CBを支える仕組みが、各々の地域で構築されることが喫緊の課題と捉え、環境CBをビジネスとして育て、継続的な活動ができるよう、各事業の発展段階(事業実施上必要な資金需要の規模や事業の成熟度等)ごとに必要なサポートを提供できる地域連携システムを実証的に構築するモデル事業を全国から広く募集する。

本年度は特に、環境問題解決に関心を持つ投資家や出資者の意思を、より多様な形で社会に生かす観点から活動を行うコミュニティ・ファンドや、環境CBの持続的経営・地域における連携を促進させる機能を果たす中間支援組織、CBを成功へと導く専門家等、地域における様々な主体の役割と連携の重要性に着目し、こうした主体によるサポートシステムをモデル事業として実証的に構築することを通じ、地域におけるCBを支える方策について検討・提言することを求める。

【モデル事業を実施する協議会に対し実施を求める事項】

- (1) 環境CBを支える仕組み(地域連携)の可能性に関する検討
- (2) 環境面・金融面でのコンサルティングサービスの提供と協力関係の構築に関する検討
- (3) 地方環境パートナーシップオフィスや金融機関等の連携可能性に関する検討
- (4) モデル事業の成果に関する共有

<地域連携のイメージ(例)>



- ・モデル事業数: 5団体 × 800万円程度、交付金(エネルギー特別会計)
- ・交付対象経費: 環境CBの事業計画の検証(資金調達手法の検討等)に必要な謝金、旅費、会議費等の経費、報告書作成経費 等

【スケジュール】

- ・公募 5月9日～5月30日
- ・選定 6月上旬
- ・事業期間 6月中旬～2月下旬

【対象となる事業者】

・交付対象団体: 環境コミュニティ・ビジネス事業者、コミュニティ・ファンド、中間支援組織等から成る協議会

・本事業では、地域連携のひとつの姿として左図のようなイメージを有しているが、地域に応じて好ましい連携・協力のあり方は異なるため、必ずしも左図の形にこだわるものではない。(地域によっては、金融機関や大学、自治体などの主体との連携もありえるものと想定している)

【特に注意すべき事項】

・該当する環境CB事業は、投融資や擬似私募債の発行等、何らかの資金調達手段の検討を必要としていることが前提となる。

・協議会は、環境CBに対して、資金調達面での課題抽出や最適な手段及び環境面について、アドバイスを実施すること。

・実際の検討を通じて、環境CBにおける資金調達面での課題抽出や最適モデルの分析、金融機関との連携可能性、必要な社会基盤などを抽出・提言することを求める。